

## 2019年ゴルフ規則改定のポイント

2019年の改正案の主なポイントについて説明します。詳しい説明は前回(6/15)の解説を参照して下さい。  
本改訂は、ルール複雑化を回避して世界中のゴルファーに理解しやすいルールにすることを狙っています。  
尚、本ゴルフ規則の改定は2019年に予定されていますので、それまでは現状の規則に従ったプレーが必要です。

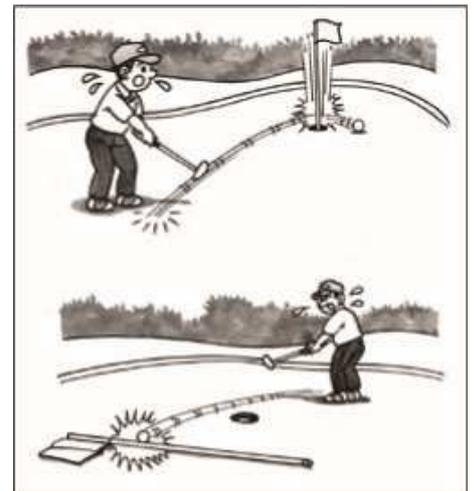
### 1. 「球が動いた」の罰の免除や軽減

パッティンググリーン上でうっかり球を動かしてしまったり、林やラフで球を捜しているときに球を動かしても罰がなくなります。故意に球を動かしたことが「ほぼ確実」な場合を除いて、プレーヤーは球を動かしたことについての責任を負うことはありません。



### 2. パッティンググリーンの規則の緩和

旗竿を立てたままパッティングをしてカップインさせることが可能になります。またプレーヤーはパッティンググリーン上のスパイクマークやシューズによって作られたそのほかの損傷、動物による損傷やその他の損傷を修理することができ、単にパットの線に触れることについて罰はありません。



### 3. 「ペナルティーエリア」(現在は「ウォーターハザード」と呼ばれる)の規則の緩和

現在のウォーターハザードやラテラルウォーターハザードはペナルティーエリアに名称が統一され、水域に加えて砂漠、ジャングル、溶岩石なども含まれます。従来のラテラルウォーターハザードの救済が認められる赤で示された罰則が適用されます。また、ペナルティーエリアでルースインペディメントを動かしたり、地面や水に触れても罰はなくなります。



#### 4. バンカーの規則の緩和

バンカー内でルースインペディメントを動かしたり、一般に手やクラブで砂に触れても罰はなくなります。ただし、クラブをソールしてはいけないことはそのままです。

また、バンカー内のアンプレヤブルの球について、2打罰で球をそのバンカーの外側からプレーすることを認める追加の選択肢が加えられます。



#### 5. プレーヤーの誠実さに頼る

ビデオ映像による証拠が後になってその誤りを示したとしても、プレーヤーの「合理的な判断」が支持されます。また、距離計測器の使用が可となり、球を確認するために拾い上げたり、損傷しているかどうか確かめるために拾い上げる場合の告知の手続きが削除されます。



#### 6. プレーのペースの支援

紛失球となるための検索時間が5分から3分に短縮されます。準備ができた者から打つ「レディーゴルフ」がストロークプレーで奨励されます。ストロークをプレーするために40秒以上かけないことがプレーヤーたちに奨励され、その他の変更もプレーのペースを支援することを目的としています。



#### 7. 救済を受けるときの簡略化された方法

特定の救済エリアに球をドロップして、その特定の救済エリアからプレーすることによって救済を受けられ、地面、成長物、地面にあるその他の物のほんの少し上からドロップすることが認められます。つまり、プレースしなければほぼ自由なやり方でドロップすればいいわけです。

特定の救済エリアの範囲は、従来の1クラブは20インチ（50.8 cm）に、2クラブは80インチ（203.2 cm）に変わります。



#### 8. 最大スコアの設定

ローカルルールで最大スコア10等を設定すれば、バンカーからの脱出ができないなどでホールアウトが無理の場合に、次のホールへと進めます。